

龍ヶ崎市 萩原 勇 市長インタビュー

市民と切り開く 龍ヶ崎の新時代



【略歴】 はぎわら いさむ 1975年7月24日生まれの46歳。龍ヶ崎市生まれ。98年に中央学院大学法学部を卒業。2015年には明治大学公共政策大学院を修了。1999～2006年まで狩野安参議院議員の秘書、07～09年まで龍ヶ崎市議会議員、09～21年まで県議会議員を務めた。

趣味の野球は小学生から。現在は竜ヶ崎リトルリーグの会長を務めている。趣味は料理やスポーツ全般と幅広く。座右の銘は、狩野安氏の言葉である「断固たる決意は不可能を可能とする」。

新市長としての抱負

「市民と切り開く龍ヶ崎新時代」を掲げ、2021年12月19日の市長選で初当選。昨年3月に起きた官製談合防止法違反事件からの信頼回復を第一に、龍ヶ崎を守り育てる先、今を生きる市民、未来を担う子どもたちが誇りを持てるような地域をつくりだすという断固たる決意だ。これまでの政治活動で培ってきた人脈を生かし、国・県・近隣市町村も巻き込み、新しい龍ヶ崎へ生まれ変わるための改革に挑戦する秋原市長に、抱負や構想する建設事業について聞いた。

「市民と切り開く龍ヶ崎新時代」を掲げ、2021年12月19日の市長選で初当選。昨年3月に起きた官製談合防止法違反事件からの信頼回復を第一に、龍ヶ崎を守り育てる先、今を生きる市民、未来を担う子どもたちが誇りを持てるような地域をつくりだすという断固たる決意だ。これまでの政治活動で培ってきた人脈を生かし、国・県・近隣市町村も巻き込み、新しい龍ヶ崎へ生まれ変わるための改革に挑戦する秋原市長に、抱負や構想する建設事業について聞いた。

まずは官製談合防止法違反事件からの信頼回復。やるべきことは情報発信の強化。ホームページなどで包み隠さず公表していくことが大切だ。また、私の思いを全職員にきちんと伝えることも大事。若い職員の意見も取り上げていき、市役所がワンチームとなるようにしていきたい。

初登庁での訓示では、これまでの思いを切り替えて、市民のためになることをやっていこうと呼びかけました。私たちは税金を使ってさまざまな政策や事業を進めていきますが、成功することもあれば、失敗することもあります。私が決裁した案件については全て私が責任をとり、自信を持って仕事をしたい。そして職員の方々が良くなることで、その家族が喜ぶことになり。それが龍ヶ崎、茨城、日本とつながっていく。誇りを感じることが仕事をやっていきたいと思います。

改革に必要なのは、情熱とネットワーク。知識。私には、国会議員秘書、市議、県議と人生の半分におよぶ23年の政治経験があります。龍ヶ崎の未来を掴みとるという揺るぎない情熱、政治を通して知り合えた仲間との熱いネットワークを生かし、国・県・近隣市町村を繋ぐ架け橋となり、龍ヶ崎を未来に向かって大きく発

展させるために、自ら動き、最前線に立つ覚悟です。

道の駅、新保健福祉施設、長谷川コミュニティセンターなど動き出している大企業について

全て中止というわけではありません。どれも多額の事業費がかかるものなので、きちんと整理して、「いいもの」をつくりたいと考えています。そのために一度立ち止まって、多方向と相談していきます。

道の駅については、当初の計画では事業費17億円でしたが、護岸工事や上下水道の接続など、予算が追加され巨額になるなど、市民にきちんと示されていないまま進められていました。まずは市民の意見を聞くために、施設内容や事業費などをあらためて整理、発信し、丁寧に再検証していきます。

新保健福祉施設も市民への説明が足りていません。基本設計を策定し、13億の事業費で、場所が市役所隣接の駐車場としていますが、はたしていいのか。他市町村の事例と比較検討しなければなりませんし、今後の20～30年後に庁舎の改築も控えていますから、そここのパランスも考えていかなければなりません。施設内容も、例えば3階の会議室について24時間使えるようにするなど、新しい発想を取り入れてい

トレイルで交流人口増

新たな建設事業

旧長戸小跡地に改築する新コミュニティセンターの建設工事は3億円。周辺道路の工事等を全て含めると6億円。基本設計と旧長戸小の解体まで進んでいます。場所の変更はありませんが、施設内容について再検証していきます。なるべく早く再開させます。

市内初の小中一貫校（長山小・松葉小・長山中）は、本年度に基本設計に入ります。令和5年度に小学校の実施設設計、6年度に長山中長寿命化の実施設設計と小学校新築工事、7年度に中学校の長寿命化に着工して、9年4月の開校を予定しています。



手賀沼を参考に魅力ある牛久沼を



森林公園は民間活力導入へ

千葉県の手賀沼を参考に、人気がある魅力的な牛久沼にするために、他市町とともに1周20km程度のトレイル（周遊道）の整備を検討していくべきかと考えています。公園も数カ所設置し、散歩はもちろん、サイクリングやマラソンなどでたくさんの方が訪れるようにしたいです。参考とする手賀沼の近隣には、年間100万人が訪れる道の駅のほか、温泉施設、博物館、フィッシングセンターなどもあり、非常に交流人口が多いです。まずは、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、つくばみらい市、河内町に国、県を含めた協議会を早期に立ち上げたいです。

【森林公園の再整備】

現在もメンテナンス、キャンプなどが楽しめますが、老朽化のため民間活力を導入してのリニューアルを考えています。昨年にはサウンディング調査を実施し、アウトドア事業者など4者に参加していただきました。そこでは、新たな宿泊施設の整備やトイレなど便益施設の再整備といった案が出ています。本年度は「龍ヶ崎市緑のまちづくりプラン」（緑の基本計画）に位置付けます。

地元業者へのメッセージ

地元業者の育成という意味でも、適正価格で受注していただき、とにかくいいものをつくらせてもらいたい。公共事業は市民の税金を進めるものだから、地元業者につかってもらうのが一番。そのためには日々の技術研さんをお願いいたします。

また、災害協定を結んでいただけており、地震や大雪などの災害の際には24時間体制で対応していただき、本当に感謝しています。

社会資本整備を通して、 新しい龍ヶ崎のまちづくりに貢献します

龍ヶ崎市建設業組合

組合長 細谷 武史 副組合長 増川 剛
副組合長 寺本 富男 会計理事 櫻井 俊一

- | | | | | | | |
|-----------|-----------|----------------|-----------|-----------|-----------|----------|
| 秋田工業(株) | 河村電気工事(株) | 株式会社井建コーポレーション | 大昭建設(株) | (有)富正建設 | 細谷建設工業(株) | (株)柳建設 |
| (株)イシダ | 清原工業(株) | 櫻井建設工業(株) | (株)大松建設工業 | 長久保建設(株) | (有)本谷土建興業 | |
| (株)磯貝 | 栗山電気(株) | 三協設備(株) | (有)タツミ開発 | (株)羽原工務店 | 増川建設(株) | |
| (有)櫻文工業 | (株)興新建設 | (株)セイビ | (株)寺本組 | (株)平川建設 | 増川設備工業(株) | |
| (株)おおたけ建設 | コナン開発(株) | 瀬尾建設(有) | 常磐建設(株) | 福智建設工業(株) | 谷田川建設(株) | (組合員31社) |